

www.foro.jp

フリースクール フォロ
foro
News Letter

みなさま、こんにちは。いつもフォロを支えてくださりありがとうございます。おかげさまでフォロは、設立以来5回目の春を迎えました。しかしこの春先、ようやく空気も和らいでホッとできると思いきや、年度替わりの学校からのプレッシャーが例年以上にキツくなってきたことを、フォロの日常のなかでピリピリと感じました。子どもたちにとってはしんどくて揺れの大きい年度始めだったと思います。フリースクールにつながる気持ちは一人ひとりちがいが、また刻一刻変わるけれど、約30人の子どもたちが年度をまたいで引き続いてこの場でやっていくことを決めてくれたことは、本当にありがたく、また今後いっしょにすごしていける時間がとても楽しみです。

今回のニュースレターでは、フォロの近況報告に替えてスタッフ3人の手記をお届けします。活動報告として写真も何枚か載せました。あわせてご覧ください。一日たりともくり返しのない、刻々動いてゆくフリースクールでのつれづれを感じていただけましたら幸いです。

ともすれば、子どもや若い人を不信でいっぱい、まなざしで囲い込んでしまいそうな社会の大きな流れがあるなかで、フォロも、足もとが飲み込まれないように歩んでいきたいと思えます。どうぞ忌憚のないご意見をお寄せください。また、今後とも、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

2006年5月1日
 特定非営利活動法人フォロ
 代表理事 花井紀子



ボイスドラマ制作 in スタジオ (3月24日)
 (大阪府青少年活動財団支援事業)



新しい卓球台がやってきた！ (2月1日)

ボイスタイム(声優・アニメを楽しむ時間)を いっしょにやってきて

ボイスタイムは活動を始めて早3年弱。紆余曲折いろいろありましたが、今まで何とか続いてきました。この「ボイスドラマ制作」は、子どもたちみずから「大阪府青少年活動財団」へ企画提案をして実現した活動です。財団に演劇経験者の方がおられるということで思いがけず話が進み、その方のアドバイスから「自分たちで台本を書いて、完全オリジナルドラマにしよう!」ということになりました。最初はなかなか進まず、どうなることかと思いましたが、新しい仲間が増えたり、財団の方が抜き打ちでようすを見にきてくださったりしたことが刺激になったのか、俄然やる気が出てきて、最終的には20ページを超えるオリジナル台本『最後に見た夢』ができあがりました。そして、スタジオでの本格的なボイストレーニング、早口言葉、さながら演劇の立ち稽古にいたるまで、ふだん、あまり体験することのできない厳しくも楽しいレッスンを経て、みんなの気持ちもひとつになり、ついに録音の日を迎えました。録音は練習の成果なのか、なんとほぼ一発でOK!スタジオ内はうれしさと達成感で満ちあふれました。このボイスドラマは、今後パソコンを使って編集し、ホームページなどで公開する予定にしています。私は今回の活動に関わるなかで、子どもたちが「自らを表現していくこと」の可能性を改めて感じました。そして、その小さくても輝いている可能性をけっして潰さず、ゆっくりでもいいから、いっしょに育てていくことができれば、と思いました。そのためにはまず、関わる大人たちが楽しんでいないといけません。それにしても今回のボイスドラマ制作は楽しかった! みんなお疲れさま! 編集もがんばろうね! (大溪裕美)



チョコパイづくり / 3月8日



デイサービス施設見学 / 2月14日



スタッフの仕事観を聞く時間 / 1月23日



エコの時間について相談 / 4月17日

スタッフの1年を振り返って…

僕がフォロのスタッフになって早1年。ほんとにあっという間の1年間でした。最初は僕のほうもフォロの会員のみんなのほうも、おたがいのようすを見ながらのなんともビミョーな付き合いから始まりましたが、会員のみんなの気づかい、なんとかこの新しいスタッフとの関係をつくっていこうという優しさに助けられながら、今はとてもいい人間関係をつくれていると思っています。

昨年の夏ごろから近くの公園で野球をよくするようになりました。試行錯誤しながら少しずつ上達し、最近では、他のフリースクールのチームと野球場で本格的に試合ができるようになるほどになりました。共感できる何か、共有できる何かを持てたことが、一人ひとりとの付き合いを深めていくことにつながっていったような気がします。野球をいっしょにやっていると、いろいろな話をするようになりました。あらたまって話すほどのことではないような小さな悩みや不安も、ふだんの日常のなかで共有できたような気がします。僕自身の悩みや不安を会員のみんなに聞いてもらうこともしょっちゅうありましたね。

何気ない会話や、やりとりのなかから、フォロの活動につながったこともよくありました。「別に学校を受験するわけじゃないけど、学校で勉強するようなこ



フリースクール合同ソフトボール大会／3月13日

とも少し知ってみたいなあ」という何気ないつぶやきから始まった個人学習タイムは、週に1回2時間ほど机にむかう活動として半年ほど続いています。また、「〇〇ちゃん幼稚園の先生とか向いてそうやな」「どっちかっていうと高齢者のほうがいい」「ほんなら一度見学に行ってみる？」なんていうおしゃべりから、本当に見学体験に二度も行くことになったりもしました。今でもその子は見学に行った施設でボランティアを続けています。人と人として、特別じゃない普通の関係、年齢なんて関係のない対等な関係を大事にしながらいっしょに向き合って行ける付き合いをこれからもやっていけたらいいなと思います。

(今村圭一郎)

ナマのつながり

ミーティングのときに、覚悟を決めて「なんで自分は学校に行きたくなくなったか」の話をする子がいます。この人たちだったら伝わるかも、と初めて人前で話してみる気になったと言います。みんな、ただただ聴き入ります。学校では何をするときも「あなたは何でもすぐ壊すから見てるだけね」と言われ続けてきて、ずっと耐えてきたという人、自分(子ども)のことを心配するまわりの思いを背負いきれなくて、「罪悪感でいっぱいだ」とフォロに着くなり語りだす人。小学校にいたあいだの記憶がほとんど飛んでしまって空白だと言った子は、何年間もひどいいじめにあっていました。ずっと、いい子でいることをがんばり続けてきた人は、自分が学校に行けなくなって「親が行かなくてもいいよと言ってくれるけど、心の底では信じ切れなくて、つらい」と泣いていました。

多くの人が元気そうにしている、生まれてわずか数年とか十数年で生きるか死ぬかの岐路に立つ経験をしていることを、フォロでは感じます。「よく今日まで生き延びてきてくれました」という感じです。どんな思いでこのフリースクールにつながっているのだろう、と考えると怖くなったりもします。だから、私はいつもビビっています。そしていつも「これでいいの

かな。聴くしかできないな」「しばらく来ていないあの子は、眠れてるかな」……などと、ひとのことを勝手に心配したり、自分の判断に不安でいっぱいになっています。

でも、私は私の人生を生きることしかできません。子どもの人たちは、それぞれに自分の人生を自ら切り拓いていくしかなくて、私は私で、自分がやりたいことを紡いでいこうと思っています。でも、この人たちにつながらせてもらっていることで、見えてくるものはとてもクリアになります。今の社会がどういう仕組みになっていて、どんな力によって動いているものなのかを常に考えさせてもらえます。それが、私も感じる「今の社会の生きにくさ」と根っこが同じであることは確かです。

フリースクールは、つながる一人ひとりによって息吹が吹き込まれる場だと思います。その一人ひとりと話し合いや折り合いをつけつつ、たがいににとって良いものをともに作り続けることは、めんどくさくもあり、しんどいときもあります。が、これがないとたぶん何かは生まれにくい。このナマのつながりを大切にしていきたいと思っています。

(花井紀子)

第5回通常総会を開きました

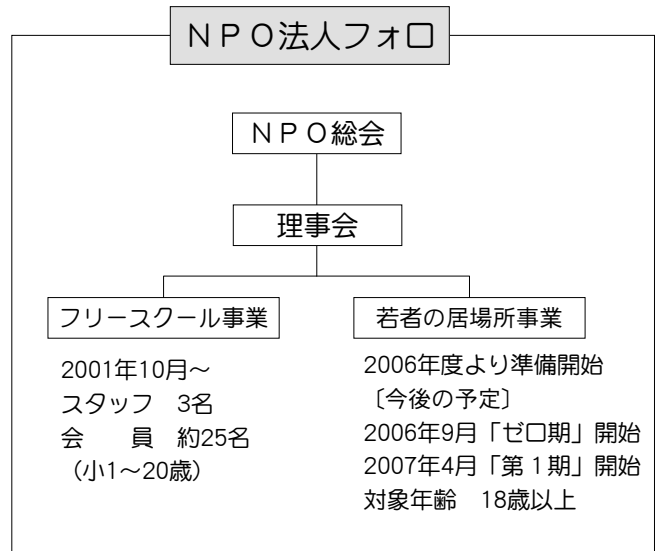
4月16日、第5回通常総会を開きました。総会では、昨年度の事業・決算報告、今年度の事業計画・予算の承認、新役員の選任などをしました。フォロは毎年、財政的にはカツカツで乗り切っていますが、昨年度は、なんとか若干の黒字決算となりました。また、今年度からは新規事業として、若者の居場所の準備を進めることを提案し、承認されました。この新規事業を推進するにあたって、事務局長の山下耕平が理事として新しく選出されました。

このほか、フリースクールの日常のようす、子どもたちのようす、不登校をめぐる状況の変化、なぜ若者の居場所事業を立ち上げるかについてなど、さまざまに意見交換しました。それぞれ、誠実かつ率直に意見を出し合っただき、とても有意義に話し合うことができました。時代状況は、かならずしもいい方向に変化しているとは言えませんが、子どもたち、あるいは若者たちにとって、ほんとうに必要なとされている活動を、地に足をつけてつくりつけていこうと、あらためて確信した1日でした。

※新規事業については、準備会を設置し、広く意見をうかがいながら、準備を進めていきます。

NPO法人フォロと新規事業の関係

NPO法人フォロでは、これまでフリースクール事業のみを行なってきましたが、新規に若者の居場所の準備を進めます。そこで、簡単に組織図として、法人と事業の関係を図示します。



お知らせとお願い

●フォロのボランティアを募集しています

子どもたちの多岐にわたる活動を支えてくださるボランティアさんを募集しています。21歳以上の方でしたら、経歴や資格・特技を問いません。まずは月1回開催の見学説明会に出席いただき、フォロが大事にしていることや日常のようすを見に来られませんか？
くわしくは、フォロまでお問い合わせください。

●フォロを応援してください。

NPO会員・支援会員になって(継続して)、運営を支えてください。今年度は新規事業も開始します。ぜひとも、よろしくお願いいたします。

ゆずってください

ティーバッグの麦茶(毎日ガブガブ飲んでます)、紅茶、大きめのヤカン、うちわ(例年、できるだけ省エネで夏をすごしています)、スリッパetc...

Talk-inフォロのご案内

フォロでは、関心のある方たちとの意見交流の場として、「Talk-inフォロ」という会を月に1回、開いています。学生さんや、学校の先生、カウンセラー、親の方など、さまざまな立場の方が参加し、毎回、議論を深めています。どなたでも参加できますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。

※毎月1回、第3金曜日

時間 午後6時30分～8時30分

参加費 300円

Foro News Letter 第13号

発行日 2006年5月1日

発行者 特定非営利活動法人 フォロ
〒540-0025 大阪府中央区徳井町1-1-3

TEL06-6946-1507 FAX06-6946-1577

mail to: info@foro.jp

URL <http://www.foro.jp>

◎郵便振替口座 00900-1-25564

加入者名 フォロ